

ENSEMBLE AMPLIFIER

**SKB-60**

取扱説明書

**SUZUKI**

# SKB-60

このたびはお買い上げいただき、ありがとうございます。

本機を正しく、より性能を活かしてお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

## 特 長

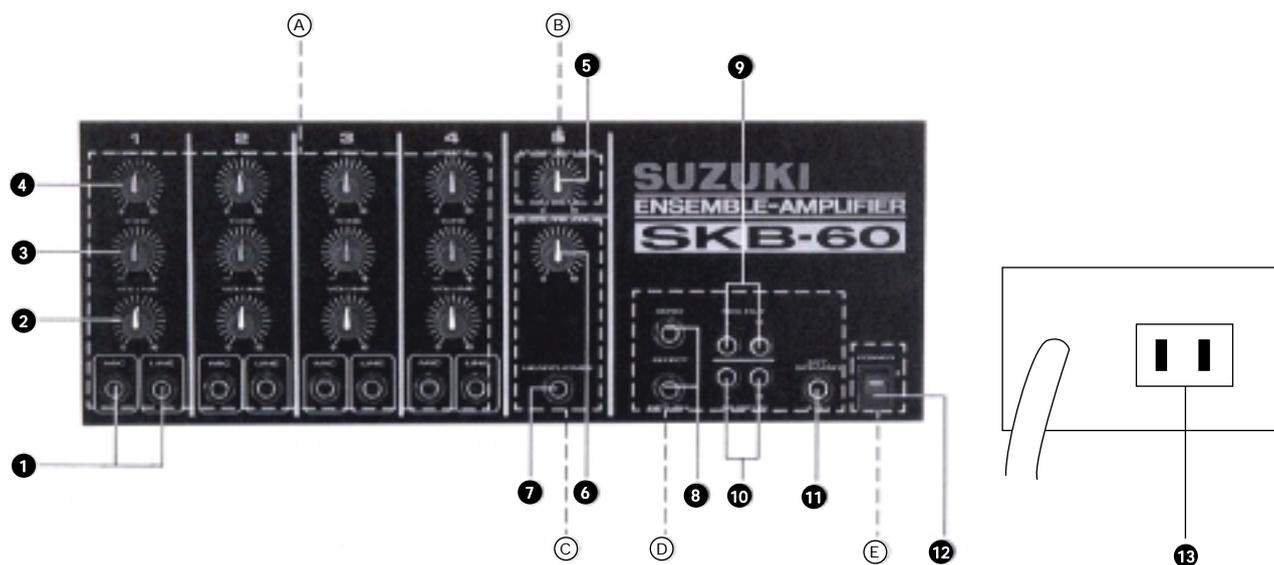
キーボード、ハーモニカ、大正琴などの合奏、音楽教室での指導、各種発表会など、マルチに対応するアンサンブルPAアンプ。しかも、操作は簡単です。

最大、マイク4本、楽器4台が接続でき、さらに、CDプレイヤー、テープデッキ等が接続できるミュージックインも装備。あらゆる用途に対応できる設計です。

外部スピーカー端子を装備。スピーカーの増設も可能です。

## 各部の名称と機能

### 全面パネル



### A.楽器 / マイク入力部

#### マイク / ライン入力

マイクやキーボード、リズムマシン等の楽器を接続する端子です。マイクはMIC端子、楽器類はLINE端子に接続して下さい。

#### チャンネルボリューム

各チャンネルの音量を調節します。右回しで音量が大きくなります。

#### トーン

各チャンネルの音質を調節します。右回しで高音域が強調され、左回しで低音域が強調されます。

#### エフェクト

エコー、リバーブ等を のエフェクト端子に接続した際、各チャンネルのエフェクトの音量を調節します。なお、本機全体のエフェクトの音量はエフェクト側で調節して下さい。

## B.ミュージック入力部

### ミュージックボリューム

のミュージック・イン端子に接続した、カセットデッキ、CDプレイヤー等の外部オーディオ機器の音量を調節します。右回しで音量が大きくなります。

## C.マスター部

### マスター・ボリューム

本機の全体の音量を調節するつまみです。

### ヘッドフォン

ヘッドフォンを接続する端子です。ヘッドフォンを接続した場合、スピーカーからは音が出なくなります。

## D.外部機器接続部

### エフェクト（ SEND / リターン ）

エコーやリバーブ等のエフェクトを接続するための端子です。SEND（ SEND ）端子はエフェクトの入力端子と、RETURN（ RETURN ）端子はエフェクトの出力端子と、それぞれ接続して使用して下さい。

### 録音端子

テープデッキで録音する場合に使用する端子です。デッキのライン入力端子と接続して下さい。

### ミュージック・イン

テープデッキ、CDプレイヤー等の外部オーディオ機器の音を、本機のスピーカーから出力する場合の接続端子です。デッキ等の出力端子と接続して下さい。なお、この端子に接続した機器の音量はチャンネル5のミュージックボリューム で調節できます。

### 外部スピーカー端子

外部スピーカーを接続して使用する場合、この端子に接続します。スピーカーは4 ~ 8 のものを使用して下さい。

## E.電源部

### 電源スイッチ

本機の電源スイッチです。電源ONのときにインディケーターが点灯します。なお、電源スイッチを操作する時は必ずマスター・ボリューム を0にして下さい。

### サービス電源コンセント

他の機器への電源供給にお使い下さい。

このコンセントからのタコ足配線は危険ですので、必ず1個の機器のみに利用して下さい。

## 仕 様

出 力：最大120W / 平均60W

スピーカー：30cm（ウーファー）×1、7.7cm（トウイーター）×1

コントロール：<1~4チャンネル> ボリューム、トーン、エフェクト

<5チャンネル> ボリューム（ミュージック用）

<マスター> マスターボリューム

入力端子：マイク×4、ライン×4、ラインイン（ピンジャック）、  
エフェクトリターン

出力端子：ラインアウト（ピンジャック）、エフェクトセンド、  
ヘッドフォン、外部スピーカー（4 ~ 8 ）

サービス電源：100V ・ 300W（MAX）

スイッチ：電源

消費電力：39W

外形寸法：425（W）×660（H）×290（D）mm

重 量：20.8kg

## 外形寸法図

